

令和元年度 磐田市立磐田第一中学校 学校経営構想

※ 下線・強調文字等→重要ポイント

1 はじめに＜校訓の理念→教育目標：学校経営の基盤＞

校訓「平和を誇れ 真理を啓け 文化を創れ」を、自他を大切に作る人間尊重の精神や思いやりの心が育ち、地域の歴史や伝統に支えられた多様な価値を学び、確かな学力を高め、高いところざしのもとに自らの夢や目標に向かって社会を生き抜いていく力を求めることであるととらえている。

その精神は、本校教育の歴史を貫く最高理念として位置づけられ、創立以来、具体的な教育活動の実践により連綿と受け継がれてきた。

平成20年度に掲げられた学校教育目標「未来を拓く力をもつ生徒を育てる」は、まさにその理念の具現を目標としたものであり、新学習指導要領の基本方針である「将来の予測が難しい社会の中でも、伝統や文化に立脚した広い視野をもち、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を子供たちに育む」を先取りした、すばらしい学校教育目標であると自負している。

そこで、平成31年度も引き続き学校教育目標を継続しながら、「矜持」「惻隠」「堂々」及び「三感（共感、存在感、達成感）」、生徒信条をキーワードとし、目標達成のため、安心で安全、信頼される学校を基盤に、毎日の教育活動を積み重ねていきたい。

2 学校経営方針→学校経営目標 <R→A→V>

近年は、少子高齢化、グローバル化、急速な情報化や技術革新などが進展し、社会や経済の変化が著しく、子どもを取り巻く環境にも大きな変化が見られる。これに伴い、人間関係の希薄化、学ぶ意欲や規範意識・自己肯定感の低下、不登校やいじめ、家庭や地域の教育力の低下など多くの教育課題をかかえている。本校においても特に心が弱く不安定な生徒や不登校生徒が多いなど、それは例外ではない。

しかし、そんな中においても全体的には本校生徒はまじめで、授業や行事をはじめ、教育活動に前向きに落ちて取り組んでいる。

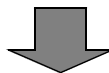
また、校区に市役所やJR磐田駅があるなど、磐田市の行政や商業・経済の中心地区であり、3つの県立高校があるなど文教地区でもあることから、PTAや地域の方も、校区「中泉地区」に誇りをもち、教育熱心で学校教育に対する期待も強い。

そこで、上記の校訓、学習指導要領の基本理念、静岡県のみぞす「有徳の人」づくり、磐田市の「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」を念頭に、地域の財産である、人やモノ（こと）と連携・協力・協働するなかで、「未来を拓く力をもつ生徒を育てる」という学校教育目標を達成するための学校経営の方針を以下のように定め、学校経営目標を設定した。

＜学校経営方針＞ …教育目標を達成するために←安心・安全、信頼される学校づくりを基盤に

- ① 「何ができるようになるか・何を学ぶか・どのように学ぶか」を常に意識した教育活動を推進する。（生徒が主体、主語は個々の生徒の視点 → 未来を拓く生徒を育てる）
…授業、行事、部活動等、すべての教育活動を通して ←カリキュラム・マネジメント
- ② 教育課程を家庭・地域、学府で共有化し、より一層の連携（一貫）・協働を図った教育活動を推進する。（学校・職員、保護者、地域が主体で行うという視点→社会に関く）
…学校運営協議会の活用、PTA活動の活性化、小中一貫教育の推進を通して

＜学校経営目標＞（V）…校長のビジョン



- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">① <u>社会で自立的に生きるために必要な資質・能力を育む学校づくり</u> 【生徒】
—「何ができるようになるか・何を学ぶか・どのように学ぶか」を常に意識した教育活動—② <u>保護者や地域・社会に関かれた教育課程を通し、信頼される学校づくり</u> 【学校】
—教育課程を家庭・地域・学府小学校と共有化し、より一層の連携・協働を図った教育活動— |
|---|

3 教育構想 (1)～(3)…<V→P→C・E→A>

- (1) 校訓：「平和を誇れ 真理を啓け 文化を創れ」… 学校経営の基盤とする
 (2) 教育目標：「未来を拓く力をもつ生徒を育てる」…校訓・県・市・新学習指導要領を受けて… 将来の予測が難しい社会の中でも、伝統や文化に立脚した広い視野をもち、志高く主体的に未来を創り出していくために必要な資質・能力を子供たちに育む。
 (3) めざす一中学生の姿【具体的重点目標】と達成のための手段、評価指数

※ 校訓とキーワード：惻隠（共感）・矜持（達成感）・堂々（存在感）の系統・整合性を踏まえて

校訓	平和を誇れ	真理を啓け	文化を創れ
校訓の解釈	「平和を誇れ」とは、国際平和を願い協調関係や人権を尊重することである。「 自他の存在をかけがえのないものとして認めること 」「 自他のかけがえのない命を大切にすること 」に他ならない。 (思いやり)	「真理を啓け」とは、「真理を解き明かすこと」であり、学問を追究することである。基礎的・基本的な力をつけながら、「 物事の本質や正しいことを求めてねばり強く学び、生き方を見つけること 」に他ならない。 (主体性)	「文化を創れ」とは、一中73年の歴史と伝統を正しく踏まえ、新たな一中の文化を創出することである。一中らしいたたずまいを築き「 一中学生であることに誇り をもち、役割を果たし、 貢献すること 」に他ならない。 (誇り)
主概念	惻隠 「人間らしさ」の希求	矜持 「自分らしさ」の創造	堂々 「一中らしさ」の創出
(三感)	豊かな共生の心 共感	健やかな心身と確かな学力 達成感	新たな一中文化創出の担い手意識 存在感
生徒信条	・私は花の美しさも人情の美しさもわかる生徒になります。	・私は知識をみがくために 自主的に 学習する生徒になります。 ・私はたくましいからだ 旺盛な精神力 をもつ生徒になります。	・私は知識をみがくために 自主的に 学習する生徒になります。 ・私は花の美しさも人情の美しさもわかる生徒になります。
目指す一中学生の姿	○ 気持ちのよいあいさつができる一中学生 ○ ありがとうが素直に言える一中学生 …相手意識、相手を思っでの行動・姿である。	○ 授業や部活動に主体的に取り組む一中学生 ○ 進路(目標・夢)に向かって粘り強く取り組む一中学生 …学力(体力・気力)を付け、夢や未来に向かって、力強く生きようとする姿である。	○ 行事やボランティアに意欲的に取り組む一中学生 ○ 校歌を大きな声で堂々と歌う一中学生(教師) …行事(体育大会、合唱等)や校内外のVSに生徒が主体となって意欲的に取り組む姿が、一中の学校文化となり誇りにつながる。(校歌は言うまでもない。)
☆手立て・手段	☆ 常に教師が、率先してあいさつや返事、感謝の言葉を言う。 ☆ 道徳科授業の充実 (考え、議論する道徳科授業の実践←授業研、評価研修等の実施)	☆ UD・Nスタイルの手法を行かした授業実践 (研修の推進) ☆ 自主性、主体性を重んじた部活動 (目標の設定や練習方法の決定等、生徒が主体の部活動の推進) ☆ 進路指導の充実	☆ 生徒会を中心に生徒が主体、生徒が前面に出るよう、行事やVS(*)の企画を任せる。 (そのための時間の設定や教師がつく時間の確保。生徒活動の場では、教師が前面に出ない。)
<目標指標>	85%	85%	85%

基盤：学級 → 個が生き、個が伸びる集団 → 目指す一中学生の姿
 (含：個別指導・支援…特別支援教育の一層の推進、不登校対応への取組・**学府学校風土改善**等)

(含：**通級指導教室**) ↑ **スクールカウンセラー、コミュニティスクールコーディネーター、スクールソーシャルワーカー、スクールサポートスタッフ**
働き方改革…チーム学校(学校事務、SC、CSC、SSW、SSS等)の一層の推進 他

(4) 目標達成のための具体的な手だてとチーム

※ 推進組織（チーム）☆はリーダー、○はサブリーダー

☆ 常に教育目標・経営目標・目標・重点目標を意識しながら指導を行う。 <P→D>

☆ 学校運営協議会・小中一貫（学府）教育・PTA・職員会議等の活性化<C→A>
（理解し、見てもらい、その姿から評価…話し合い・対話を通して、よりよい（深い）プランを実行につなげる。）→ **信頼される学校** ←**コンプライアンス・リスク管理**を念頭に置く。

生徒の命を守る：安心・安全な学校づくり。

惻隠・共感：気持ちのよいあいさつができる一中生（+感謝：ありがとうございます）

○ 全職員が率先して気持ちのよいあいさつ・感謝の言葉を使う。 ☆ 校長・全職員

○ **道徳科**の時間の充実（授業研究、評価等研修の推進）

☆ 研修主任 ○ 道徳教育推進教師・学習部長：研修推進委員

矜持・達成感：授業や部活動に主体的に取り組む一中生（+進路：夢や目標に向かう）

○ **UD・N**スタイルの手法を活かした授業実践（新学習指導要領の理解も踏まえて）

☆ 研修主任 ○ 学習部長：研修推進委員会

○ 自主性・主体性を重んじた**部活動**の推進（部活動ガイドラインの遵守）

☆ 特活主任 ○ 部活動担当・各顧問

○ **進路**（夢をもち、未来に向かう生き方）指導の充実

☆ 進路指導主事 ○ 各学年主任・各担任…全職員で

堂々・存在感：行事やボランティアに意欲的に取り組む一中生（+校歌を堂々と歌う）

○ 生徒会を中心に生徒が主体、生徒が前面に出るよう、**行事やVS**の企画を任せる。

☆ 特活主任 ○ 生徒会顧問・専門委員会顧問→生徒リーダー

○ **校歌**を大きな声で堂々と歌う

☆ 校長・全職員→生徒リーダー→全生徒

☆ すべての活動・指導の要は、学年・学級であり、生徒にとっても「絆づくり」「居場所づくり」の基盤であると考え。そこでその指導チームとしては、**学年団、指導の中心は各学級・担任**となる。（基盤となるのは、学級である。）

…特別支援教育（含 通級）・不登校対応の基盤ともなる。 ☆ 研修・特活・特支C→○各学年

☆ 「目指す一中生の姿」を地域や学校運営協議委員、保護者、学府の小学校に理解してもらうとともに、授業や行事（壮行会、体育大会や合唱コンクール等）、部活、総合的な学習の取組、地域ボランティア等で**活動する一中生の姿**を見てもらう。その姿を評価してもらい、更なる向上、改善に努める。→**信頼される学校** <D→C・E→A>

※ **経営手法**（「R→A→V→P→D→C・E→A」…経営マネジメント・システム）

※ 教育構想を達成するために、以下のマネジメント手法をとり、経営に当たる。

R …「リサーチ・リレーション・リスク」…調査・情報収集・関係づくり（ラッジ・リスクマネジメント）

A …「アセスメント・アナライズ」…評価・分析…主に「SWOT分析」を中心に

V …「ビジョン」（楽しい夢と浪漫に満ちた「共有化・焦点化・可視化」できるビジョン）

P …「プラン」（具体的でポジティブな企画・計画、組織的に「チーム」で臨む）

D …「ドウ」（日々、継続しての実践の積み重ね…最も**重要**）

C・E…「チェック・エビデンス」（指標をもとにチェック、**根拠**を明らかにする）

A …「アジャスト・アクション・アドバタイズメント・アピール・アカウンタビリティ」

（修正・改善実行・情報発信・説明責任）

※ よいこと・活動の様子をいろいろ情報発信し、保護者や地域の方をはじめ、多くの方に一中の教育・生徒の姿を知ってもらおう。そのことで評価や信頼を得たり、最初のR（リレーション、public relations）につなげたりして、システムをサイクル化する。

(5) 勤務環境改善（働き方改革）

- ・ **部活動ガイドラインの遵守** ・ **会議時間の合理化・短縮化**（勤務時間内修了）
- ・ **業務の見直し**（例：清掃場所の精選・朝の昇降口開放時間を遅く 等）
- ・ **休憩時間の確保**（例：教室での給食指導の順番制）
- ・ **チーム学校**（学校事務、SC、CSC、SSW、SSS等）推進 等